



広報 — ご家族皆様でご覧ください —

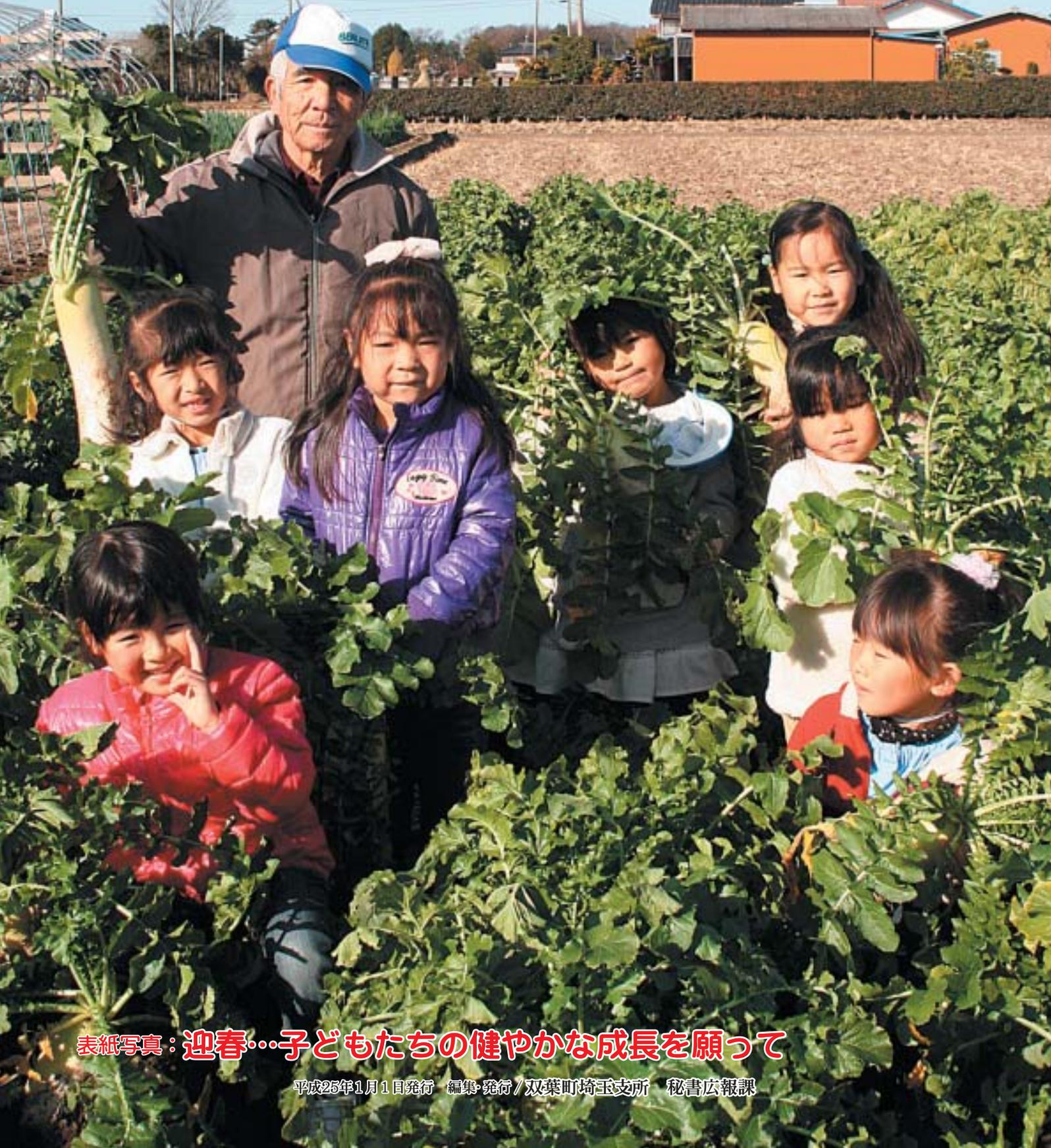
ふたば

温め合おう! 双葉



1

災害版No.20 1月号
2013



表紙写真：迎春…子どもたちの健やかな成長を願って

平成25年1月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課



平成25年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災並びに原発事故から早や2回目のお正月を迎えました。

避難生活も長く続く中、今年は、町民の皆さまに先の見える形で双葉町の復興・再生の町づくりの方針を早い機会にお示しし、行動を起こすとともに、町民の、町民による、町民のためのまちづくりを進めてまいりたいと意を強くしているところであります。

そして、何よりも心配されるのは、避難生活が長引く中での町民の皆さまの心と体の健康であり、ケア対策に万全を期さなければならぬと考えております。

国が示す避難指示区域の再編では、双葉町の約75%が帰還困難区域となりますが、私は放射線量の数値で双葉町を分断することは許されないと考えていますし、原発事故がまだ収

計画から行動へ

双葉町長 井戸川 克隆

束していない今、双葉町全域を速やかに帰還困難区域に設定するよう国に強く求めております。

避難指示区域の再編に応じないと

損害賠償が遅れ、生活の再建ができません

と考えると、損害賠償はもちろんのこと、

私たちが真に要求しなければなら

ないことは、放射能による被ばくや長

期にわたる避難生活で失われた健康

と震災前の生活を回復することであ

ります。避難指示区域の再編には、

被ばくによる健康被害などは考慮さ

れていないと言っても過言ではあり

ません。放射能による健康被害は、

いつ発症するか予想し難いのが現状

です。特に子どもたちが受ける生涯

の放射線量は大きく、良識ある大人

が子どもたちを守っていかなければ

なりません。

損害賠償は、5年先までの賠償が

決まっています。その後も帰還で

きない場合の賠償は未定であります。

国は、膨大な予算で、しかも技術的

に確立されていない除染を進め、早

めに住民を帰還させ、損害賠償を打

ち切りたいと考えていると思います

が、私たちは避難生活が続く以上、損害賠償を請求する権利を有するとともに、権利を行使しなければなりません。

中間貯蔵施設についてであります

が、国から納得のいく説明が無いま

ま、中間貯蔵施設の調査を強く迫ら

れております。しかし、主権者であ

る町民の皆さまのご理解と同意なく

しては進めることができませんし、

私はまだ皆さまから同意をいただきたい

しておりません。また、双葉町議会か

ら中間貯蔵施設建設の調査の受け入

れの要望がありました。私は、以

前から申し上げておりましたとおり、

町民の皆さまの意見を聞き、十分議

論を交わし、受け入れるかどうか判

断してまいります。

双葉町の面積は51平方キロと双葉

郡内では一番狭く、原発事故により

一番線量の高い放射能で広範囲に汚

染されてしまいました。この除染を

するだけでも膨大な敷地が必要で

すし、他の町村の汚染物質を受け入れ

る余裕などないはず。また、国

が示した中間貯蔵施設建設予定地か

ら2キロのエリア内に、役場、幼稚

園や小、中学校などの公共施設はもちろんのこと、新山、長塚、三字地区など、町の主な地域が入ることから、帰還に向けた対応は困難を極めることは必至であります。

今、双葉町の復興・再生に向けて、

復興まちづくり委員会でも色々の角度

から議論をされていますが、町民の

皆さまの意見や提言を無駄にするこ

となく、十分反映させ、年度末まで

は委員会による計画案を町民の皆さまに公表するとともに、計画実現の

ため、行動を起こしてまいります。

双葉町の復興・再生の基本は、次

代を担う子どもたちが夢と希望をも

てる町づくりであります。町民の皆

さまも一人ひとりが立ち上がらな

ればなりません。頑張りましょう。



▶副町長 井上 一芳



今年の抱負

双葉南小学校5年

(福島市立御山小学校)

けんもくれみ
見目玲海さん

私の今年の目標は、もっと勉強をがんばることです。苦手な教科を得意な教科よりたくさん勉強し、得意にしたいです。きちんと見直しをして、ケアレスミスを無くしていきたいです。

私の将来の夢は、英語の先生になることです。小さい頃から通っていた英語教室の先生にとっても優しく教えていただき、私も先生のようになりたいたいと思ったからです。夢に近づけるため、去年は英検4級を受験し合格しました。今年はずっと単語や文法を覚えて英検3級にチャレンジしたいです。

4月からは引越して新しい小学校に通います。新しい小学校でもたくさん友達を作って仲良くしたいです。



チャレンジ

双葉南小学校5年

(会津若松市立小金井小学校)

さかしたあやか
坂下 絢香さん

双葉町に住んでいた時に近くに住んでいたおじいちゃん、おばあちゃんもいともみんな一緒に会津にいます。避難中は離れてしまった時もあったけれど、今は一緒に幸せです。

平成25年は6年生になります。もっといろいろなことを学び、新しいことにもどんどん挑戦していきたいと思っています。

今年の干支は「巳」。巳年生まれの子どもたちに 今年の抱負や感じていることなどをお伺いしました。



みんなと 会える日まで

双葉南小学校5年
(千葉県大網白里町立増穂小学校)

しんのあやこ
新野 絢子さん

私は、3月11日の大震災の日学校にいました。地震の後、校庭に避難しましたが、とても揺れが大きくて怖かったです。お母さんが迎えに来てくれましたが、ランドセルを置いてきてしまったので避難中はランドセルの事や双葉のお友達と離れ離れになり心配になりました。避難先の千葉県で2分の1成人式をやりましたが、20歳の成人式は双葉町で双葉のお友達と一緒にできればいいと思います。

去年は、金管部に入りチューバという楽器を担当しています。最初は難しくて大変だったけど、発表会ではとても上手に吹けたので、とてもうれしかったです。今年はずっと練習をし、吹ける曲を増やしていきたいです。



新年の抱負

双葉南小学校5年

(東京都西東京市立碧山小学校)

よしだはるき
吉田 晴輝くん

ぼくの今年の目標は3つあります。

- 1つは、昨年から習い始めたサッカーを一生懸命がんばり、上手になること。
- 2つめは、最上級生として下級生のお手本になるように日頃から心がけていくことです。
- 3つめは、勉強も難しくなってくるので、学習時間を増やし、中学生に向けてがんばります。

震災からもうすぐ2年が経ちます。大好きだった双葉町に帰ることができないため、きれいな海や山を見ることができなくてとてもさびしいです。でも、友達との再会や励ましのことを胸に避難生活を乗り越えてがんばりたいと思います。



双葉町の思い出と 新年の抱負

双葉北小学校5年
(いわき市立菊田小学校)

紺野希美さん

震災があった3月11日からもう少しで2年になります。去年は今、通っている学校で宿泊活動などに行きました。宿泊活動に行っているときでも「もし、北小に通っていたら北小はどこに行っていたのかな」と心の中に浮かんできました。北小や双葉町のことを思うと少しさびしくなるけど、今は、いわきのお友達も仲良くしてくれるので、楽しい毎日を送っています。

そして今年4月から6年生になります。私は今年、勉強をがんばり、友達と仲良くして、正しく、強く、朗らかに毎日を過ごしていきたいと思っています。

双葉北小学校で学んだ「正しく・強く・朗らかに」をいつも忘れずにこれからの生活がんばります。



新年の抱負

双葉北小学校5年

(福島市立鳥川小学校)

舘下智哉くん

ぼくは今、福島市の鳥川小に通っています。新しい友達もでき毎日楽しく過ごしています。今、がんばっていることは水泳と野球です。水泳では週に5回、一日に1時間半泳いでいます。大会にも参加し、自己ベストを目指してがんばっています。野球では、兄とキャッチボールや筋トレなどの自主練習をしています。

今年の目標は、最上級生としてみんなの役に立てる人になることです。下級生の面倒をみたり、クラスのみなどと協力し、充実した学校生活にしたいです。

今も、双葉北小学校で友だちや先生と楽しく過ごしていたことを思い出します。また、みんなと学校生活を送れることを願って、日々努力していきたいと思っています。

2013年



年男 ががんばります

双葉北小学校5年
(愛知県蒲郡市立塩津小学校)

廣田知希くん

双葉町の皆さん、お元気ですか。寒くなってきたのでどうぞ風邪などひかないでください。

ぼくは今、愛知県の蒲郡市というところで避難生活を送っています。近所の人みんな親切で、小学校にもたくさん友達ができました。でも時々、双葉町で生活していた時の事を思い出して、懐かしくなったり、少し悲しくなります。ぼくは、双葉町の自然が大好きです。生き物を見たり、捕まえて観察する事がとても楽しかったです。山や海、川、空がきれいな双葉町に帰りたいと思うことがあります。

4月から小学校の最高学年の6年生になります。部活のバスケットボールをもっと練習してうまくなり、たくさん勉強して賢くなりたいです。



避難生活で 感じたこと

双葉北小学校5年

(埼玉県加須市立騎西小学校)

澤 桃花さん

私は双葉町が大好きです。山があつて、夏には海にたくさん行きました。今住んでいる所には海がなく、ちょっと悲しいです。

新しい学校は、初めは不安がいつぱいで学校に行きたくない気持ちの時もありました。

双葉の友達とバラバラになって悲しく思う時もあります。でも、騎西小学校の先生や友達はみんな優しくおもしろいので、すぐに仲良くなりました。今では学校に行くのがとても楽しいです。

今年小学校生活最後の年です。新しいことにチャレンジしたいです。そして、たくさん思い出をつくりたいと思います。

第4回双葉町議会定例会



行政報告



ることができるよう、全力で取り組んでいるところであります。

9月定例会以降の行政経過についてご報告申し上げます。

10月27日・28日の両日、全国各地で受け継がれています地域伝統芸能全国大会福島大会が郡山市で開催されました。



東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から1年9ヶ月が経過いたしました。今も町民の皆さんは、避難生活を余儀なくされるとともに、放射能による健康への不安や風評被害に苦しめられながら、困難な生活を強いられ続けております。

町民皆さん全員が生活や事業を完全に再建させることができるよう、十分な賠償はもとより住宅や医療、健康対策など、きめ細かな生活再建策を切れ目なく最後まで確実に講じ



双葉町からは、「郡山の神楽」「前沢の女宝財踊り」「山田のじゃんが

▲地域伝統芸能全国大会 福島大会▼

ら念仏踊り」の3団体が出場いたしました。県内外の避難先から出演される皆さんが駆け付け、地域コミュニティの形成に重要な役割を担い受け継がれた伝統芸能を披露して観衆を魅了しました。



11月18日は、第24回ふくしま駅伝競走大会が白河市陸上競技場から福島県庁前までの16区間96・5kmで開催されました。

昨年は、メンバーがそろわずオーブン参加でしたが、今回は、監督・

コーチ・選手の皆さんがこの避難生活で全体練習もできない厳しい環境の中、正式の参加となり双葉町として見事完走し記録に残る走りを行いました。

選手の頑張りには、町民の皆さんに元気と感動を与えていただきました。選手、そして支援していただきました関係者の皆さまに、改めて感謝を申し上げます。



▲第24回ふくしま駅伝競争大会

12月4日・5日の両日、郡山市民プラザ・ビックアイで、町芸術文化団体連絡協議会主催により、25回目の双葉町総合美術展が開催されました。

昨年は、震災と原子力発電所の事故のため開催できませんでしたが、横山久勝会長をはじめ会員の皆さまの熱意によりまして、多くの作品が

出品され盛大に開催されたところ
あります。

会員の皆さまと出品されました皆
さまの御労苦に感謝申し上げます。



▲セイタカアワダチソウが生い茂った田んぼ

11月上旬から実施されました六巡
目の一時帰宅につきましては、これ
までと同様に事業者などの帯同も可
能なマイカーなどの立入りが実施
されました。
五巡目までの累計実績数は、9、
207世帯・21、120人となっ
ております。また、六巡目の実績数
は、12月9日現在で、マイカーでの
立入りが1、187世帯・2、880
人、バス利用による立入りが61世帯・

100人となっております。六巡目
の一時帰宅は12月15日で終了しまし
たが、次回の七巡目は、来年2月頃
の実施予定となっております。



▲雑草で覆われた役場庁舎

東日本大震災に関連する災害弔慰
金は、12月10日現在で、申請数が1
11件、うち認定が97件となってお
り、平成23年度と平成24年度合わせ
て290、000千円を支給してお
ります。

福島県各市町村の空間放射線量に
つきましては、各市町村独自の測定
結果を広く知っていただくことを目
的として、福島県の放射線量集計シ

ステムを利用し、測定結果の公表を
行っております。

また、福島県の帰還住民放射能対
策機器整備事業の補助を受け、先の
定例会で購入契約のご承認を頂きま
した個人用の放射線測定機器は、購
入した1、600台に対し、12月10
日現在で1、375台の発送を終了
しており、引き続き追加の申し込み
を受け付けております。

内部被ばく検査の状況であります
が、12月7日現在で2、285名の方
が受検されております。内訳です
が、福島県が昨年から実施している
検査で1、438名、双葉町が協定
を結んでいるひらた中央病院での検
査が197名、旧騎西高校で8月1
日から実施しているホールボディカ
ウンターによる検査は650名となっ
ております。現在は、随時、検査の
申込みを受け付け、検査を行ってお
ります。

また、健康調査（疫学調査）につ
きましては、本調査は、双葉町、滋
賀県長浜市旧木之本町及び宮城県丸
森町の住民の健康状態に関する調査
をそれぞれ同時期に行い、その健康
状態を比べ、どのような健康状態が
放射線被ばくや避難生活によるもの
かを把握することを目的として実施
するものです。今回、岡山大学大学

院環境生命科学研究所のご協力を得
て、11月中旬に調査票を送付し、現
在、回収を行っております。



▲草を求めて町内を移動する牛

双葉町内に生存している牛の捕獲
状況について申し上げます。平成22
年度の家畜農家登録数は17戸、飼育
頭録数が182頭となっております。
9月からの牛の捕獲頭数は、12月7
日現在で55頭となっており、うち地
震発生後に生まれた子牛の捕獲数が
37頭となっております。現在、5つ
の捕獲用柵を設置し捕獲を行ってお
りますが、残りの頭数が未確定な状
況であり、今後も福島県相双家畜保
健衛生所と連絡を取りながら、設置
数を増やすなど、捕獲に努めてまい
ります。

.....
 農業者戸別所得補償交付金につきましては、今年度、福島県内及び埼玉県で5名の方が避難先において、営農を再開しており、国から水稲や野菜栽培に対する農家戸別所得補償交付金が交付されております。

今後も避難先での営農再開をする農家があるものと考えられますので、現状を把握しながら支援等について対応してまいります。



▲震災前の美しい田園風景

役場機能移転についてであります。仮庁舎設計及び建設の一括リースとするため、指名型プロポーザル方式を採用し、業者選定を行いました。去る11月29日から12月14日まで技術提案書の提出を頂きました。

その提出された提案書の評価を行い、条件に最も適合した業者に建築、リースをお願いすることになっております。早急に建築確認申請手続きを行い、建築に着工する予定としております。



▲震災前の初日の出

中間貯蔵施設は、8月19日に開催された国・県・双葉郡8町村長の会議の席上、候補地として双葉町の2カ所を含む郡内12カ所の提案がなされました。しかし、各町村ともに首長だけの判断では、是非は決定できないとして、議会並びに町民の皆さんとの議論を経て判断する方針を確認しております。また、幹事会で

の論点整理、併せて各町村の事情に応じて、国からそれぞれ説明を受け、納得したうえで町村長会議に諮ることになっておりました。当町においても、この考えでありましたので、国に対しては、質問事項を提出しておりましたが、納得いく回答が得られておりませんでした。併せて、議会、町民の皆さんとの議論も未了の中で、判断が困難との考えから、事前に県に申し出を行い欠席させていただいたものであります。このことについては、色々ご意見もあるかと存じますが、町を思う一心のことでありますので、ご理解をお願いするとともに、今後、疑問点をさらに詰めてまいりたいと思います。



復興まちづくり計画の策定に向けた取組状況ですが、双葉町復興まちづくり計画案の策定について議論する双葉町復興まちづくり委員会を、これまで6回開催いたしました。10月以降の審議については、第3回委員会において、それまでの委員会審議並びに7000人の復興会議の中間整理を踏まえ、集中的に議論すべきテーマが決められ、それに基づき精力的に審議が進められております。議論の一端をご紹介しますと、双葉町復興まちづくり計画が目指すものとして、単に仮の町や双葉町の復旧・復興にとどまらず、避難生活の改善などの短期的な課題、本格的な生活再建などの中期的な課題、双葉町の復興などの長期的な課題を網羅した、長期的な指針とすべきではないか等の議論が交わされております。さらに、特定のテーマにて集中した議論を行うため、3つの部会が設置されました。「生活再建部会」において、仮の町の在り方を中心に帰還までの当面の生活拠点の在り方について、「ふるさと再建部会」において、双葉町への帰還に向けた条件や町の土地の復旧・復興について、「ぎずな部会」において、現在及び将来にわたる双葉町の歴史・文化の継承やコミュニケーションの維持について、精力的な審議が進められております。

今後は、これまでに開催した6回の委員会並びに3回の部会での審議を踏まえ、来年3月までの計画案のとりまとめに向けて、計画案の骨子などの議論を行い、その上で、7000人の復興会議及び住民意向調査による町民の皆さんの意見を分析し、それらを計画案の内容に反映させていく予定となっております。計画案の取りまとめに向けて、委員の皆さまには精力的な審議をお願いしているところです。



▲7000人の復興会議

なお、住民意向調査については、「7000人の復興会議」に加えて、現時点の町民の皆さまの将来の意向について網羅的に把握し、復興まち

づくり計画案の審議に反映させるなどを目的として、復興庁及び福島県との共催により実施いたします。中学生以上の全町民を調査対象とし、今年20日頃に調査票を発送、来年1月上旬までに回収を行う予定で、来年2月上旬に結果をとりまとめ、復興まちづくり委員会に報告し、計画案の審議に反映していただきたいと思います。



▶みんなでまちづくりマイノート

原子力損害賠償双葉町弁護士につきましては、申立て件数の増加に伴い、原子力損害賠償紛争解決センターによる解決が遅れているところですが、弁護士において交渉の結果、被害者の皆さんに少しでも早く賠償金が支払われるよう、「一部和解の制度」が設けられました。この一部和解によりセンターへの申立てから早ければ3カ月程度で先行して一部和

解金を受けられ、その後本和解ができるようになっていくとの報告を受けておりますが、本和解までには相当の日数を要することも事実であり、引き続き速やかな支払いを求めています。

さらに、損害賠償に係る消滅時効の問題もあり、請求期間に期限をつけることは、被害者にとって過酷であり、重大な権利侵害を招くことになるため、去る11月30日に、文部科学大臣に対して、時効中断手続き、立法化による救済措置を講ずることを強く要望いたしました。

今後も、双葉町弁護士との連携を図りながら、原子力損害賠償の完全賠償に向けて取り組んでまいります。

避難区域再編につきましては、12月12日、議会の皆さんの同席のもと、内閣府原子力災害対策本部の熊谷審議官から区域再編の現状について、説明を受けるとともに意見交換を行いました。これまでの、町民同士のつながり、さらに避難している町民の気持ちになって再編案を考えていただきたい等の意見が出され、国も持ち帰っての検討することを約束されました。今後も精力的に協議を重ねてまいります。

原発事故に伴う、放射能による被ばくや長期の強制的、集団的避難等により、役場機能はもとより、町民の皆さんが従前生活の拠点としてきた住宅並びにその他生活基盤としての機能は全面的に喪失させられたままです。これらを取り戻すことができよう取り組んでまいりますので、議会の皆さん、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



▲震災から1年9カ月の黙とう

第25回 双葉町総合美術展

12月4日、5日の両日、郡山市市民プラザビックアイ6階展示室において、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催による第25回双葉町総合美術展が開催されました。

会員の皆さんが全国に避難している中で、書の部、水墨画の部、絵画の部並びに写真の部など9部門から100点の出品があり、会員の皆さんにより会場内にきれいに展示されました。

開会式では、横山久勝会長が「震災前のような出品点数とはいきませんが、作品の1つ1つが出展者の思いのこもったものです。それぞれの分野で会員の皆さんが日々研鑽を重ねてきた成果であり、時間の許す限りご鑑賞いただき、ご講評をいただきたい」とあいさつしました。

2日間とも来場者が入れ替わり立ち代わり訪れ、作品を鑑賞しました。



▲双葉町芸術文化団体連絡協議会 横山久勝会長



さくらら応急仮設住宅自治会が奨励賞を受賞
 …第45回花いっぱいコンクール…

11月28日、県森林・林業・緑化協会、農林中央金庫福島支店、福島民友新聞社主催の第45回花いっぱいコンクールの表彰式が福島市で開催されました。県内の学校や事業所などを対象にした団体の部に52団体、個人の部に11人の応募があった中で、双葉町のさくらら応急仮設住宅自治会が奨励賞を受賞し、川原光義自治会長に表彰状と盾が贈られました。

表彰式では主催者代表の神田俊甫福島民友新聞社長が「復興へ厳しく険しい道のりですが、花を植える心の豊かな人たちが昨年より増えたことをうれしく思います」とあいさつ。松本昇県園芸課長が審査報告を行い「毎日のこまめな



川原光義さくらら応急仮設住宅自治会長



管理の努力の積み重ねが美しい花の開花につながった」と話しました。

川原光義自治会長は、「猛暑の中での草取りや水撒きなど大変なこともありましたが、会員の皆さん、特に女性の皆さんの努力のおかげでこのような賞をいただくことができうれしく思います。会員の皆さんの家々にも育てた花が美しく咲いています。苦しい避難生活ではありますが、花を育てることで、会員の連帯感や心の安らぎを得ることができました」と話されました。

町長の主な公務

をお知らせします

平成24年11月16日～12月15日

- 11月 18日 第24回市町村対抗福島縦断駅伝競走大会 (福島市)
- 19日 原子力損害賠償協議会要望活動 (東京都)
- 20日 福島県知事との懇談 (東京都)
- 21日 福島県防災会議原子力防災部会 (福島市)
- 22日 原子力規制委員会及び規制庁との意見交換会 (東京都)
- 24日 国連人権委員会事情聴取 (東京都)
- 27日 消防庁長官との懇談 (楡葉町)
 県企画調整部との意見交換会 (いわき市)
- 28日 双葉地方広域市町村圏組合協議会定例会 (郡山市)、福島県町村会役員会 (福島市)
- 30日 原子力規制庁との懇談 (埼玉支所)
- 12月 3日 福島県知事との懇談 (埼玉支所)
- 7日 長野県松本市長との懇談 (松本市)
 環境省との協議 (埼玉支所)
- 8日 双葉地方町村議会議員研修会 (郡山市)
- 10日 J Aふたばいわきサポートセンター開所式 (いわき市)
 双葉地方町村長会議 (郡山市)
- 11日 内閣府との協議 (埼玉支所)
- 12日 議会全員協議会 (埼玉支所)



11月25日、埼玉県旧騎西高校に福島県の復興シンボルキャラクターのキビタンが訪れ、町民の皆さんや子どもたちとふれあいました。

かわいいキビタンや娘のキビィが中庭に現れると大きな歓声が上がりました。町民の皆さんや子どもたちはキビタンと一緒に福島市で活躍中のインストラクター石山浪江先生がプロデュースした「リフレッシュ体操」や「福島県民の歌」に合わせた体操を行い、体を温めました。

続いて福島県やキビタンに関するクイズ大会が行われ、クイズに正解すると、キビタンのぬいぐるみがプレゼントされました。子どもたちはキビタンと一緒に遊びながら楽しい時間を過ごし、最後にキビタンが描かれた風船を持って記念撮影をし、みんなで福島県の復興を祈りました。

双葉町住民交流会

11月27日、震災前の地域住民のつながりをよみがえらせる機会として日本赤十字社福島県支部主催による双葉町住民交流会が猪苗代町のホテルで開催されました。福島県内に避難している住民の皆さん75人がそれぞれの避難先から参加して楽しく交流を深めました。

初めに、神野幸夫日赤福島県支部総務課長兼組織振興課長があいさつをし、丸添富二さんの乾杯の音頭で交流会が始まりました。

参加した皆さんは、バイキングでの食事を楽しみ、おしゃべりをしたり、温泉に入ったりして日頃の疲れを癒していました。



▲丸添富二さんの音頭で乾杯！



双葉町 住民意向調査票の提出をお願いします。

双葉町では、福島県、復興庁との共催により「住民意向調査」を実施しています。

これまで、双葉町では「双葉町復興まちづくり計画案」の策定に向けて町民皆さまのご意見・ご提案を計画に反映させるため「7000人の復興会議」として、ワークショップやインターネット会議、まちづくりマイノートの配布を実施してきました。

このたび、町民の皆さまへ調査をお願いしている「住民意向調査」は、「7000人の復興会議」に加えて、現時点の町民の皆さまの将来の意向について網羅的に把握し、「双葉町復興まちづくり計画案」の審議に反映させるとともに、避難期間中の生活環境の改善や施策等の具体化を進めるための基礎資料とすることを目的としています。

町民の皆さまのご意見、考えを把握する重要な調査ですので、皆さまのご協力をお願いします。

- 対象者：中学生以上の全町民
- 提出期限：平成25年1月8日(火)
- 提出方法：住民意向調査票と併せて送付している封筒へ、世帯分の調査票を全てまとめて提出願います。

<問い合わせ先>

双葉町埼玉支所 企画課

☎ 0480-73-6880 (代表)

— お知らせ —

8月23日から9月10日にかけて開催しました「避難基準の見直しに伴う賠償基準」に関する住民説明会のQ&A集(質疑・応答集)を町ホームページに掲載しましたので、ご活用ください。

URL:<http://www.town.futaba.fukushima.jp/songaibaisyo.html>

新山行政区からのお知らせ

新山区長 竹原 天

新山地区総会(大字会)を開催いたしますのでご出席ください。

- 開催日…平成25年2月17日(日)
- 場 所…郡山市民プラザ・ビッグアイ7階
(郡山駅西口)
郡山市駅前二丁目11-1
☎ 024-922-5544
- 時 間…午前10時～
- ※大字より交通費の一部補助があります。不明の点がありましたら下記までご連絡ください。
- 連絡先…竹原 天 ☎ 090-5568-4997
富沢 信一 ☎ 090-4887-5736
五十嵐一雄 ☎ 024-573-4560
澤上 敬 ☎ 090-8257-1246

事業者の皆さんへ(福島県からのお知らせ)

福島県産業復興相談センターでは、中小企業の皆さんの二重債務問題や事業の再開・再生に向けた支援を行っています。

金融機関出身者、税理士などの専門家が皆さんからの相談受付から具体的な支援まで一貫してサポートします。

相談は無料で秘密は厳守いたします。詳しくはお問い合わせください。

<問い合わせ先> 福島県産業復興相談センター

☎ 024-573-2561 (平日のみ)

受付時間 午前8時30分～午後5時15分

あなたの健康、見守ります

(県民健康管理調査基本問診票のご回答のお願い)

福島県では、原子力災害による放射能の影響を踏まえ、県民の皆さまの健康を長期にわたり見守っていきます。その出発点として、問診票をご提出いただいた皆さまには、各々の外部被ばく線量をお伝えしております。

現時点で推計結果の通知が届いていない皆さまには、現在、急ピッチで作業を進めておりますので、もう少々お待ちください。

まだ作成されていない皆さまには、基本問診票にご記入いただき、平成23年3月11日から7月11日までのご自身の外部被ばく線量を確認いただくために、問診票のご提出をお願いいたします。

○出前書き方説明会・相談会お申込みについて

県と県立医科大学では、「県民健康管理調査基本調査問診票」に関する出前書き方説明会・相談会を皆さまのご要望に応じて開催します。

開催日時は、土、日、祝日を除く午前9時から午後4時までの間で、1回当たり10人から15人までの相談が可能です。

詳しくは、県立医科大学県民健康管理センターまでお問い合わせください。

<問い合わせ先>

福島県立医科大学 県民健康管理センター

☎ 024-547-1786

HP [あなたの健康、見守ります](#) で検索

ポータブル放射線測定器の貸し出しについて



(株)マウスコンピューター様から福島県にポータブル線量計が寄贈され、そのうちの100台が双葉町に贈られました。

双葉町では、規約に基づき一年間の期間を限度として希望者に貸し出しいたしますので、希望される方は下記担当までご連絡願います。

この線量計は、アップル社の携帯機器である「iPhone 4S」「iPhone 4」「iPhone 3GS」「iPod touch (第3又は第4世代)」に接続し、無料の専用アプリケーションをダウンロード・インストールして測定するものです。前述の機器以外への接続はできません。

貸し出し機器の名称は「Scosche RDTX pro」です。

○受付開始：1月4日～

電話で受け付けを行い、申込書を郵送します。

なお、貸し出しは測定器本体のみであり、前述のアップル社の携帯機器等は付属いたしませんのでご注意ください。

また、機器の数量も限られておりますので希望者多数の場合は申し込み順とさせていただきます。なお、在庫が無くなり次第、返却があるまでの順番待ちとなりますのでご注意願います。

※今回の貸し出しは、当該測定器が利用可能なアップル社の機器の購入を勧めるものではありませんのでご了承願います。

※アンドロイド系の携帯機器（スマートフォン等）では接続端子の形状が異なり接続できません。

＜申し込み先＞双葉町埼玉支所 住民生活課
☎ 0480-73-6880 (代表)

ふくしま心のケアセンター —福島県精神保健福祉協会—

ふくしま心のケアセンターは、2012年11月19日より電話相談専用ダイヤルを開設しました。東日本大震災や津波、原発事故による被災とその後のストレスにより、悩みを抱えている方々やその支援をされている方々からのご相談をお受けしております。

被災者相談ダイヤル

ふくここライン
☎ 024-531-6522

午前9時～正午、午後1時～午後5時（平日のみ）
※専門の相談員がお受けいたします。お気軽にご相談ください

○こんなこと、気になっていませんか。

- ・最近、なんだか眠りが浅い。夜中に目が覚めることも増えた気がする。
- ・以前と比べると、食欲が落ちたかもしれない。体重が増えたり、減ったりする。
- ・ちょっとした音にも驚いてドキドキしたり、不安になったりする。
- ・災害時に体験したことやその時のことがよみがえって、辛くなることもある。

○ひとりで抱えていませんか。

災害のあと、これまでに感じたことのない気持ちの変化や不調が起きることがあります。それらは多くの方が経験するもので、決して特別なものではありません。人間にはつらい状況から回復していく力が備わっています。ただ、大きすぎるストレスを抱えたときに、その力がうまく発揮できなくなることがあります。そんな時、たとえば誰かに話を聞いてもらうことや睡眠時間を十分にとることなども効果的です。

中田地区総会・新年会の開催について

中田区長 中村 希雄

中田地区の総会および新年会を開催いたしますので、ご出席ください。

○開催日…1月8日(土)、9日(日)

○場 所…ホテル塩屋崎
いわき市平豊間兎渡路164

○日 程…総 会 1月8日(土) 午後4時～
新年会 " " 午後6時～

○連絡先…

・中村 希雄 ☎ 080-5223-2459

ふくしま心のケアセンター 連絡先一覧

- ・基幹センター ☎ 024-535-8639
- ・県北方部センター ☎ 024-533-4161
- ・県中方部センター ☎ 024-983-0274
- ・県南方部センター ☎ 0248-27-3625
- ・会津方部センター ☎ 080-2814-1923
- ・相馬方部センター ☎ 0244-26-9753
- ・いわき方部センター ☎ 0246-38-7461



指名競争入札参加資格審査

平成25・26年度
申請受け付け

町の指名競争入札に参加するためには、「指名競争入札参加資格審査申請書」を提出しなければなりません。提出された申請書は、一定の基準に基づき審査を行い、必要な資格を満たしている方を有資格者として登録します。

今回は、平成25・26年度の2カ年分の資格審査申請書を受け付けます。

▶ 提出場所および提出方法

持参または郵送（締切日必着）のいずれかの方法により双葉町埼玉支所総務課管財係へ提出してください。

▶ 提出書類

○共通様式：町ホームページからダウンロードしてください。

○添付書類

- ①工事・測量等の請負を希望する場合
 - ・福島県様式に準じる（各1部提出）
- ②物品の納入を希望する場合
 - ・入札参加資格審査申請書
 - ・登記事項証明書またはその写し（個人の場合は身分証明書またはその写し）
 - ・納税証明書またはその写し
 - ・営業所一覧表（営業所などに委任する場合は委任状）
 - ・その他営業の内容、能力などを示すもの（財務諸表、実績高調書、従業員数および営業年数調書など）

※申請書はA4版ファイルとじとする
ファイルの色については、（工事等…グリーン、測量…イエロー、物品役務…ピンク）で提出してください。

▶ 受付期間

2月1日(金)から2月28日(木)まで
午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く

▶ 当該資格の有効期間

平成25年6月1日から平成27年5月31日までの2年間有効です。

平成25・26年度 指名競争入札参加資格審査申請にあたっての特例制度について

平成23・24年度指名競争入札参加資格審査申請の受け付けを行っており、その主たる営業所または従たる営業所の所在地が、平成23年3月11日時点で警戒区域等（警戒区域、計画的避難準備区域及び緊急時避難準備区域）にあった方は区域の設定による経営状況への影響を考慮し、審査基準日を平成23年3月11日と平成24年7月1日から選択できることとします。（ただし、発注種別に対応した建設業の許可を申請日現在も有していることが必要です。）

また、対象となる方については、名簿の有効期間内において一度だけ再認定（選択しなかった方の審査基準日で再認定を受けることができます。）

〔問い合わせ先〕双葉町埼玉支所 総務課管財係 ☎ 0480-73-6880

金融庁と財務局からの大切なお知らせ

○東日本大震災の影響によって、住宅ローンなどのお借入金の弁済にお悩みの方は、「個人版私的整理ガイドライン」（被災者ローン減免制度）を利用することにより、住宅ローンなどの免除を受けることができます。

①借債務の免除には、一定の要件を満たすことが必要となります。

○個人版私的整理ガイドラインは、

①個人信用情報の登録などに不利益を回避できません。

②国の補助により、弁護士費用はかかりません。

③運営委員会に登録された弁護士の費用に限ります。

③500万円を目安に現預金を手元に残すことが可能とされています。義援金等は、上記500万円とは別に手元に残すことができます。

④被災状況、生活状況などの個別事情により減額があります。

○詳しくは「個人版私的整理ガイドライン運営委員会」、またはお取引金融機関までお問い合わせください。

〔問い合わせ先〕

・個人版私的整理ガイドライン運営委員会
コールセンター ☎ 0120-380-883
福島支部 ☎ 024-526-0281

〔受付時間〕 平日：午前9時～午後5時

疫学調査の提出について

双葉町では、滋賀県長浜市旧木之本町自治会、福島県双葉町を支援する会(旧木之本町)、宮城県丸森町筆甫地区、岡山大学大学院環境生命科学研究科のご協力を得て、「疫学調査」を実施しております。

この「疫学調査」は、双葉町、旧木之本町及び丸森町の3ヶ所で健康状態に関する調査票を配付し、皆さまにご回答、ご返送いただくことを同時期に行い、その3ヶ所の健康状態を比べ、どのような健康状態が被ばくや避難生活によるものかを把握することが目的です。

今回の調査結果につきましては、町民の皆さまへ広報紙等を通じてご報告するとともに、皆さまの健康管理のための資料として活用させていただきます。なお、データの分析は岡山大学大学院津田・頼藤研究室にお願いしております。

疫学調査に関しての依頼文や調査票が届いていない方は、下記までご連絡ください。なお、調査票は町ホームページからダウンロードすることができます。

【問い合わせ先】双葉町埼玉支所 健康福祉課健康づくり係
☎ 0480-73-6899

疫学調査を実施しております。
調査票にご記入の上、お早目にご返送
願います。(随時受け付けております)
ご協力よろしくお願いたします。

これ以上内部被ばく
をしないためには、
食生活にも気配りが
必要です。



食生活と内部被ばく検査について

大気中や食べ物などから放射性物質が体に入り、その放射性物質から放射される放射線によって起こるのが内部被ばくです。

福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質により、多くの方が被ばくをしております。双葉町では、8月1日から、埼玉支所においてご寄贈いただいた着座式のホールボディカウンターで、内部被ばく検査を行っており、約650の方が受検しました。また、福島県等が行っている内部被ばく検査の受検者は約1,635人となっております。(12月7日現在)

1年9ヵ月が経過した今、汚染された食物を食べ続けることによる内部被ばくが懸念されております。放射性物質に汚染された食物を食べ続けた場合、その量が多ければ内部被ばく量も増えることになります。

毎日の食事にも気配りををお願いします。

※ホールボディカウンターは、体内に取り込まれた放射性物質の量を体外から測定する装置です。

【問い合わせ先】双葉町埼玉支所 健康福祉課健康づくり係
☎ 0480-73-6899

健康手帳の発行について

この健康手帳は、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、大気中に放出された放射性物質による被ばくと、健康被害との因果関係を明らかにするための大切な記録を残すことを目的としております。

今年度中に皆さまのお手元にお届けする予定です。

手帳には、内部被ばく検査の結果票、健康診断の結果票などを挟みこむことができます。また、健康状態などを記録するページもあります。十分にご活用願います。



▲ホールボディカウンターによる内部被ばく検査



冬は特にご注意!

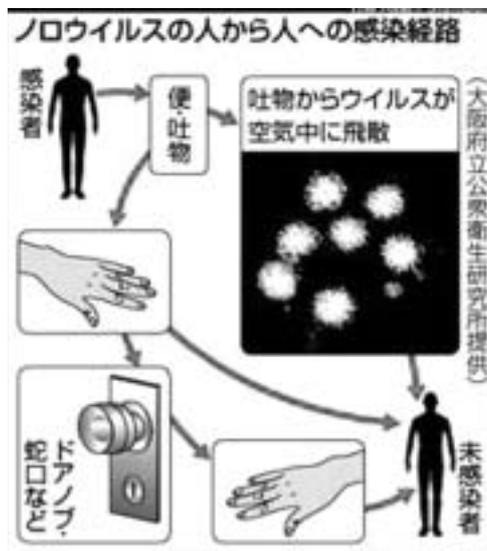
ノロウイルスによる食中毒

食中毒は夏だけではありません。
ウイルスによる食中毒が冬に多発しています

冬季に集中するウイルス性胃腸炎はノロウイルス等に起因するものが多く、学校、福祉施設等で発生すると集団発生につながることがあります

ノロウイルスによる胃腸炎はどのようなものですか？

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、1年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、発症までの潜伏期間は24~48時間で、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。



加熱が必要な食品は中心部までしっかりと加熱しましょう。



食品の中心部の温度が、85℃で1分間以上の加熱するのがめやすです。とくに肉や魚はしっかりと加熱してください。

「手洗い」をしっかりと行いましょう。



とくに食事前、トイレの後、調理前後は必ずよく手を洗いましょう。(せっけんでよく洗浄し、すすぎは温水による流水で十分に。)

調理器具や調理台は、**清潔**にしましょう。



まな板、包丁、食器、ふきんなどは、使用後すぐに洗うとともに、熱湯(85℃以上)で、1分以上の加熱が有効です。次亜塩素酸(200ppm)で浸すようにふくことも有効です。※ハイター等の家庭用漂白剤を使う場合は、表示にしたがひ、うすめて使ってください。

かかってしまったら...

- ・ 水分を十分補給する
下痢やおう吐などによって脱水症状にならないように水分補給が大切です。
- ・ かかりつけ医に相談する
脱水症状がひどい場合などは医療機関で点滴をうけます。かかりつけ医に相談してください
- ・ 食品を扱う方は食品の取り扱いを控える
少量のウイルスでも感染するので、二次感染を防止しましょう

尿による内部被ばく検査について (検出下限値 0.10~0.30Bg/kg)

住民の皆さんの健康不安の解消と継続的な健康管理を目的に「尿による内部被ばく検査」を実施しております。お早目に申し込みください。



- 申込締切：1月31日(木)(12月より引き続き受け付けしております)
- 対象者：平成23年3月11日現在、双葉町に住所を有した方、及びその後生まれた子ども
- 方法：必要量を採尿(乳幼児は紙オムツ可)し、検査機関に送付
詳細については、お問い合わせください。

<お問い合わせ先> 双葉町埼玉支所 健康福祉課健康づくり係 ☎ 0480-73-6938



果物を上手に摂りましょう

年末からお正月にかけて、久しぶりに家族や親せきがそろい、おせち料理などのごちそうを食べたり、お酒を飲んだりする機会も多くなります。弱った胃を休め、平常の食生活に戻す区切りとして、1月7日の朝食に七草粥を食べる習慣があります。これは、とくにおせち料理で不足しがちな、ビタミン、ミネラルの豊富な青菜を摂ることで、栄養のバランスを整えるという効果もあります。江戸時代から始まったと言われていますが、七草の風習は、中国の古い風習…七種の菜で羹（あつもの）、つまり吸い物を作り、邪気を払い万病を防ぐことからだと言われていています。

ビタミンやミネラルを補給するには、果物が手軽です。健康のために、果物は毎日200gくらいをめやすに…みかんなら2～3個、りんごなら1個、ほかの果物は下の図を参考にしてください。「果物は太りやすい」「糖尿病の人は食べない方がいい」などと聞いたことがあるかもしれませんが、食べ過ぎないことと、数回にわけて食べることにより、むしろ果物に含まれる栄養がからだにとって重要であることがわかっていきます。

果物には、私たちの食生活では不足しがちな食物繊維も多く含まれます。りんごや柿、キウイフルーツ、栗、洋なしなどは食物繊維が特に多い果物です。果物は、水に溶ける（水溶性）食物繊維と水に溶けない（不溶性）ものの両方が含まれているため、より効果が高いのが特徴です。

とくに水溶性の食物繊維は、胃や腸の中で膨張し、食事の糖や脂肪、コレステロールの吸収をゆるやかにしたり、大腸の中の善玉菌（ビフィズス菌）を増やして、腸内の環境をととのえたりすることから、便秘予防や生活習慣病の改善に注目されています。

また、みかんの袋や白いすじに水溶性の食物繊維であるペクチンが多く含まれているため、みかんを食べるときはこれらを取り除かずに、そのまま食べるのがよいでしょう。

1日200gが目標です

果物100gの目安



時間がない時に（米から炊かないで）

ごはんから作る七草粥レシピ



（材 料）

ごはん、七草、塩、しょうゆなどの調味料

（作り方）

- ・ごはんに2～3倍の水を加えて煮込み、刻んだ七草を加えてひと煮立ち。
 - ・塩、しょうゆなどで味をととのえます。
- ※コンソメや中華だしで煮て味の変化をつけたり、チーズをかけてリゾート風にすれば、お粥の香りが苦手な人にも食べやすくなります。

せり（芹）…水辺の山菜で香りがよく、食欲が増進。

なずな（薺）…別称はペンペン草。

江戸時代にはポピュラーな食材でした。

ごぎょう（御形）…別称は母子草（ハハコグサ）。

昔は草餅の材料でした。

風邪予防や解熱に効果があります。

はこべら（繁縷）…目によいビタミンAが豊富。

昔は腹痛の薬にもなりました。

ほとけのざ（仏の座）

…別称はタビラコ。タンポポに似ていて、食物繊維が豊富。

すずな（菘）…蕪（かぶ）のこと。ビタミンが豊富。

すずしろ（蘿蔔）…大根（だいこん）のこと。

消化を助け、風邪の予防にも効果があります。

「朝の果物は金」という言葉があるように、果物は朝や日中に食べるのがベストです。

一日200gを目標に毎日の食生活に上手に摂り入れましょう。

国民年金の第一号保険者の
皆さまへ

国民年金基金制度のご案内

- ・国民年金基金は、自営業、農業などの国民年金の第一号被保険者の方々がゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乘せする公的な年金制度です。
- ・加入できるのは、国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方です。
- ・加入は任意で、色々な年金のタイプから現在の状況や将来設計にあわせて選ぶことができます。
- ・年金受給前や保証期間内にお亡くなりになった場合、ご家族に一時金が支払われます。(保証がないタイプの年金もご用意しています)
- ・掛金は全額社会保険料控除、受け取る年金は公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。

【国民年金基金についての問い合わせ先】

福島県国民年金基金

☎ 0120-65-4192

〒960-8043

福島市中町1番19号中町ビル5階

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、資金・事業の紹介などをわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

1月の日程は右記のとおりです。

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます。(携帯電話のパケット料金にはご注意ください)

※時間：午前10時～午後3時

1月10日(木)	三春貝山多目的運動公園管理棟 (葛尾村役場三春出張所)
1月11日(金)	いわき明星大学 大学会館2階 (檀葉町役場いわき出張所)
1月17日(木)	郡山市一丁目応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅)
1月18日(金)	二本松市平石高田第二工業団地内 (浪江町役場二本松事務所)
1月25日(金)	会津若松市扇町応急仮設住宅集会所 (大熊町仮設住宅)

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0246-24-6044
FAX 0246-24-6142

**にこにこサロン
を開催します**

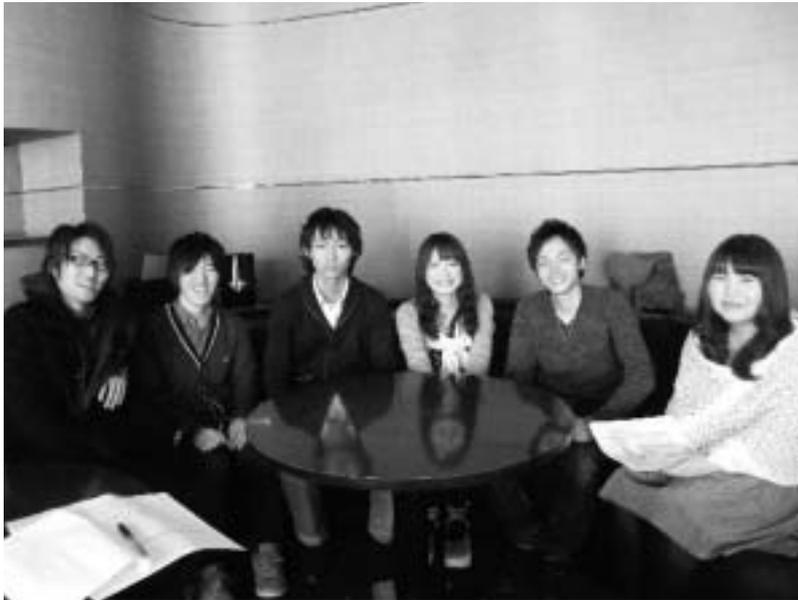
平成24年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、毎月1回次のように仮設住宅等において開催予定です。おおむね65歳以上の方を対象に、「にこにこ体操」や「折り紙」、「脳トレゲーム」、「ぬり絵」等を通して参加者の皆さんと楽しい時間を過ごします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

平成24年度 1月 福島県内仮設住宅 開催予定日

仮設住宅集会所	住所・電話	開催月日	時間
(いわき市) サポートセンター「ひだまり」	いわき市南台3丁目1-1 0246-38-7105 (事務所)	1月8日(火) (第2火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 富田仮設住宅	郡山市富田町字町田11-15 080-6290-5927 (高野)	1月15日(火) (第3火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 喜久田仮設住宅	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 080-6290-5927 (高野)	1月17日(木) (第3木曜日)	
(白河市) 白河仮設住宅第二集会所	白河市郭内151-29 080-6290-5930 (芹川)	1月24日(木) (第4木曜日)	13:30~15:30
(福島市) さくら仮設住宅	福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941 (林)	1月29日(火) (第5火曜日)	13:30~15:30
(福島市) 平野仮設住宅	福島市飯坂町平野字内小原田8-1 080-6290-5941 (林)	1月31日(木) (第5木曜日)	13:30~15:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター(介護予防事業所)
☎ 080-6033-1199(古室)

ご成人おめでとうございます



▲成人式実行委員会の皆さん

成人を迎えて

成人式実行委員長 里見 淳
副実行委員長 吉田 彩乃

この度は、私たちが無事に成人を迎えられたことを大変うれしく思います。

一昨年は東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故の影響で双葉町を離れることとなり、家族や友人、地域の方々に支えられていたことを改めて実感しました。

成人を迎えた私たちは、大人としての自覚と責任を持ち、支えられる立場から支える立場の人になりたいと思います。これまでお世話になった方々への恩返しはもちろん社会に貢献できる人間となるために力を尽くしてがんばります。



平成25年 成人者名簿

● 男子 34人 ●

名 前	地区名						
安部 利 浩	新 山	丹野 晴 彦	郡 山	岡田 裕 貴	山 田	菅野 寧 也	寺 松
遠藤 大 樹	新 山	森 和 輝	郡 山	菊地 隼 斗	山 田	吉田 哲 弥	渋 川
佐藤 亮 太	新 山	門馬 朋 宏	郡 山	鶴見 祐 輔	山 田	城下 長 令	鴻 草
鈴木 幸 己	新 山	館林 徹	細 谷	山本 昇 平	石 熊	北沢 卓 也	鴻 草
関根 諒	新 山	長塚 晃 平	細 谷	志賀 一 稀	長塚二	泉田 正 悟	両 竹
新田 和 樹	新 山	白井 溪 大	三 字	原中 洸 樹	長塚二	泉田 翔 平	両 竹
松本 知 也	新 山	津島 博 道	三 字	藤本 聖	長塚二	志賀 知 良	浜 野
鈴木 大 智	下 条	久野 峻	三 字	松本 凌	長塚二		
山田 琢 磨	下 条	武藤 久 実	三 字	里見 淳	羽 鳥		

● 女子 28人 ●

名 前	地区名	名 前	地区名	名 前	地区名	名 前	地区名
富山 早 織	新 山	宮口 萌	郡 山	北島 安 実	長塚一	野村 千 里	長塚二
江又 由 香	下 条	石井 若 奈	細 谷	杉江 美 咲	長塚一	藤田 優	長塚二
大川 恵 子	下 条	杉森 未 和	三 字	谷本 真 実	長塚一	金森 舞 美	長塚二
酒井 綾 子	下 条	高倉 由 麻	三 字	手塚 悠	長塚一	北崎 李 奈	羽 鳥
吉田 彩 乃	下 条	新妻 麻 美	三 字	松田 真 穂	長塚一	星 有佳理	羽 鳥
志賀 麻里奈	郡 山	森山 優 衣	山 田	八津尾 有 紀	長塚二	江又 優 佳	浜 野
館林 満奈美	郡 山	村上 真 樹	石 熊	山本 美 優	長塚一	新川 千 愛	浪江町

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りやメールの一部をご紹介します

双葉の風だより

帰宅時に 凜とたたずむ 阿武隈の

嶺懐かしく 時は流れる

大橋 庸一(細谷)

読書の秋となりました。久しぶりに新刊書を読む機会があり、一気に読むことができましたが、大きな衝撃を受けましたので、ご紹介をさせていただきます。

「美は世界No.1の日本経済」

岩本紗弓著 潮出版刊行

古室 仁(浜野)

著者は現役の為替ディーラーとして活躍中で、およそ16年間の経験をもとに、客観的なデータ分析で日本経済の実力を評価し、その結果、我が国の経済力が世界一の実力であると明快に示しております。私は、経済に関する知識がなく、内容を十分に把握することはできませんが、我が国の財政についてあまりにも悲観論があふれている中で、一縷の望みを発見し、明るい希望を持つことができました。つまり、日本は世界一のお金持ちであり、実質250兆円の「対外純資産」を保有しておりますが、それは単に貿易収支での黒字で稼いだのではなく、所得収支で得たものであり、「ここ10年余り所得収支での黒字額が群を抜いており、日本はもはや貿易立国とは言えないのです」と述べ、さらに二〇一一年は東日本震災の影響で年間の貿易赤字は第二の石油危機(一九八〇年2・6129兆円)以来31年ぶりの赤字で過去2番目の水準になりました。その結果、貿易赤字が足を引っ張り、経常収支までもが赤字に転落するのではないかといった悲観論が大勢を占めていましたが、結果は9兆5千550億7,000万円の黒字でした。その黒字に貢献したのが所得収支でした。

さらに著者は、政府が消費増税を決め「増税なくして財政再建なし」との立場から、2年後に消費税の引き上げを決定しましたが、それについては情報公開があまりにも貧弱であると指摘しており、安易に増税路線に舵を切ることに警鐘を発しています。

また、年金についても資産運用担当者の能力や資質についても触れ、資産運用は優れた人材で運用されており、100年年金システムは健在であり、現状では、不安視する状況にはないと明言しており、予想外経済変動などがなければ、先ずは年金の安全性に問題はないと明言しています。おりしもメディアなどで一方的に不安感をおおるような発表がなされることについては、正確なデータに基づく数字での確認がなされておらず、うのみにすべきではないと警鐘を発しております。以上簡単に感想を記しましたが、日本の経済的な実力を見直す契機にしたいと感じました。

これからも政治・経済についてはもとより、自然科学についても視野を広げ「老いて学べば朽ちず」をモットーにがんばります。

ひらすらに 己の夢を 追いかけし

わが人生に 悔いはなければ

幕張へ ジョブズの講演 駆けつけし

若き日の想い 今も変わらず

秋の日の 夕暮れ迫る アパートの

窓に輝く アリーナの屋根

飯の町 構想の夢に 期待する

高齢の身に 想いを載せて

※10月末にご投稿いただきましたが、紙面の関係で1月号に掲載させていただきました。

双葉町民のふれあいの場所の提供とともに、離れ離れになっている家族や友達、震災前のご近所との懐かしい出会いの場を持ち、これからの生活をお互いに話し合う場を持つことを目的として、夢ふたば人による「夢ふたば明日に踏み出せin南台 ダルマ市」が開催されます。

ご家族皆様さんでお出かけください。

○開催日…1月12日(土)、13日(日)

○開催場所…いわき市南台応急仮設住宅内
イベント広場

○開催時間…午前9時～午後3時

○主な催し…双葉町神楽、フラガール、
新日本プロレス、大道芸、歌謡ショー、
ダルマ神輿、カラオケ大会など

ふたば明日に踏み出せin南台



ダルマ市開催のお知らせ

浪江消防署からのお知らせ

お餅の食べ方、お酒の飲み方に注意しましょう



これからの時期は、お餅やお酒を飲食する機会が増える季節です。しかし、餅を喉につまらせたことによる窒息事故やお酒の飲み方によっては楽しいはずの時間が一転することも少なくありません。「私は大丈夫」と自信を持っていても、体調や環境により急性アルコール中毒の症状に陥ることもあります。

- ・餅は小さく切って、食べやすい大きさにしましょう。急いで飲み込まず、ゆっくりとかみ、だ液とよく混ぜ合わせてから飲み込みましょう。
- ・自分の適量を知り、その日の体調にも注意しましょう。短時間のうちに多量の飲酒（一気飲み）はしないようにしましょう

安全で楽しく食事やお酒を飲食するため、注意してお過ごしください。

<問い合わせ先>

浪江消防署 富岡消防署川内出張所
☎ 0240-38-2119

借り上げ住宅での防火講話、救急講習会の受講募集をしています

11月26日に福島市の吾妻学習センターとまごころ福島サポートセンターにて、借り上げ住宅で生活をされている浪江町の方、合わせて約165人を対象に防火講話・救急講習会を実施しました。現在住んでいる福島市は浜通りより気温が低く、脳卒中やインフルエンザを発症する危険が高いことを説明し、注意するように促しました。

浪江消防署では、大切なのち・地域の暮らしを守るため借り上げ住宅、仮設住宅での防火講話・救急講習会の開催を促しております。少ない人数でも、連絡をいただければ実施していきたいと思っておりますので、浪江消防署へご相談下さい。

仮設住宅への入居者募集(継続)

1.募集物件 (12月10日現在)

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	2 K	16戸	飯坂町平野字内小原田 8-1
	3 K	17戸	
	計	33戸	
郡山市	1 K	4戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4 (3 Kはペットゾーンのみ)
	2 K	11戸	
	3 K	1戸	
	計	16戸	
	計	21戸	
白河市	1 K	2戸	郭内151
	2 K	25戸	
	3 K	19戸	
	計	46戸	

2.募集締切 当分の間受付をします。

窓口受付時間：午前9時から午後5時まで

3.応募方法

双葉町仮設住宅入居申請（抽選申込）書に必要事項を記入の上、双葉町福島支所へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※3 Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

4.入居時期 入居決定次第順次入居可能

5.入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長平成26年3月31日まで

6.その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、応募多数の場合は抽選となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※電気、水道、ガス料金、食費などの経費は入居者の負担となります。

ぼくの夢・わたしの夢



双葉南小学校6年 ^{いどがわ ゆうた} 井戸川 悠太 くん
(現在:いわき市立泉小学校)

ぼくの将来の夢は、甲子園に出場して優勝することです。
甲子園に行きたいという夢を持ったのは、全国高校野球選手権大会をテレビで観て、甲子園でプレーをする高校生の姿に感動し、あこがれたからです。
ぼくは、小学1年生の時に双葉町スポーツ少年団野球クラブに入団し、楽しい仲間に出会い、厳しい練習もみんなと一緒にがんばってきました。
4年生の時に震災が起こり、みんなと離れ離れになってしまったけれど、野球は続けてきました。
これからも野球を続けていき、いつか甲子園のグラウンドに立ち、優勝旗を持ち帰りたいと思います。

国内外の皆さまから千羽鶴や絵手紙、激励のお言葉などをいただいています



◀ 11月14日、元双葉中学校教諭松本貞様よりサイエンス21子ども顕彰基金へご寄附をいただきました。



▶ 11月19日、上尾市国際交流会(土屋正彦会長)様より義援金と支援物資をいただきました。



^{いがりしょうた} 猪狩翔太くん(5歳)と
お母さんのさをりさん(長塚一)

幼稚園に楽しく通っています

▲ 現在、栃木県足利市にお住まいです。

双葉町民の避難状況

(平成24年12月18日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,689人
- ・福島県外に避難されている方 3,269人

— お詫びと訂正 —

広報ふたば12月号15ページに掲載しました「ふくしま駅伝出場選手名簿」に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

11区 (正) 秋元 愛
(誤) 畑中 郁美(喜多方高校2年)

連絡先

双葉町では、町民の皆さまの**所在の把握**を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や借り上げ住宅、仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

○総合受付 コールセンター 0120-455-770

埼玉支所 〒347-0105
埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内
☎ 0480-73-6880 FAX 0480-73-6926
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

福島支所 〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090 FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>
ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>